



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第20号
熊本市立植木小学校
令和6年6月21日
校長 東田 昌樹

交通安全について、ご家庭でもお話をください。

6月21日(金)に3年生の「自転車教室」がありました。熊本市生活安全課の方がゲストティーチャーで来られて、実際に自転車を使って、整備の仕方や安全な乗り方を教えていただきました。

まずは、ヘルメットを正しくかぶることのお話がありました。

次に、タイヤの空気圧や何か刺さっていないかを見ることや、ライトが付くかどうかを見ることなどの点検の仕方を説明されました。

それから、自転車の正しい乗り方についての指導がありました。自転車は道路の左側を走ります。左側を走るということは、自転車の右側を車が通ることになります。

安全な場所で自転車には乗ります。そのときに必ず「右斜め後ろ」を見ることが重要です。自転車にまたぐ前に「右斜め後ろ」を見て、自転車を発進させるときに再度「右斜め後ろ」を見ます。自転車から降りるときも「右斜め後ろ」を見て、安全を確認してから降ります。

この「右斜め後ろ」を発進や停止で確認することは、バイクや車を運転する際も重要なことです。「右斜め後ろ」を見ることは、車両を運転する基本となることだと改めて思いました。

先日、学校評議員会で「横断歩道の渡り方が危険な場面を見た」という話をいただきました。走るときの「よいい」の姿勢をとり、歩行者用信号が青に変わると、確認もせずダッシュしていた小学生がいたとのことでした。

やはり自転車と同じで歩行者も「確認」が大切だということです。子どもたちには、「車を見る」のではなく、「運転手さんとアイコンタクトしなさい」と指導しています。「アイコンタクト」をすると、「運転手さんは渡すために止まってくれているのか」「運転手さんは止まらないのか」「運転手さんは気づいていないのか」がわかります。

横断歩道は歩行者優先です。また、歩行者信号が「青」で、車の信号が「赤」の状態を通り過ぎるのは車の違反です。しかし、常に車が止まってくれるわけではないのが現状です。

交通安全については、ご家庭でも何度も何度も話をしてください。

保護者の皆様、いつも登校の見守り、ありがとうございます。朝のお仕事の前の忙しい時間の「旗当番」は本当に大変だと思います。交通量が多く、車も急いでいる状況での登校の時間の見守り、子どもたちの安全のために必要です。これからもよろしくお願いします。

さて、子どもたちが横断歩道を渡る際、旗を持った保護者の皆様が、車を止めるように車道に出られるのはなさらないでください。保護者の皆様に向かって車が当たってくるのが考えられます。

以前、私がそうしているときに、交通安全協会の方から注意されました。「歩道から旗を出して、車を止めるのだ」と言われました。

このことも大切なことですから、お伝えしておきます。

